

# 総務文教常任委員会

## 復興が進んでいない 原発被災地の福島県浪江町と 津波被害のいわき市を視察

総務文教常任委員会 江 原 榮 和



東日本大震災の大津波で被災した福島第一原発事故により、町内の8割超が帰還困難区域となっている浪江町を国道114号線で中通りから浜通りへと縦断する予定でしたが、汚染土壌の除染作業の為に、再三の迂回を余儀なくされ、あちらこちらに山積された大量の汚染土の集積所を見ながら、やむを得ず隣接する飯館村や南相馬市を通過し、その被害が甚大であったことを改めて実感し、南相馬ICから常磐自動車道に入りました。

常磐自動車道沿線の浪江町、双葉町、大熊町の町並みは全く人影がなく、屋根の落ちた建物が建っており、広大な農地はセイタカアワダチソウの黄色い花に一面被われていました。

途中いわき市にある「ら・ら・ミュウ」において、2mを超える大津波の被害状況や復興計画に基づく再開までの取組み状況の説明と市街地の復興状況について視察してきました。

26 25 日  
20 日  
18 日  
17 日  
15 日  
14 日  
12 日  
11 日  
10 日  
3 日

総合表彰式／産業文化祭  
自衛隊協力会・父兄会視察研修  
町村議長全国大会  
幼稚園PTA連絡協議会要望書提出  
町有功者の集い  
富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合監査  
甘楽多野地域議会議員交流会  
県町村議長会議員研修会・理事会  
町老連グラウンド・ゴルフ大会  
創業支援連絡会議

11月

27 日  
28 日  
29 日  
30 日  
21 日  
22 日  
23 日  
24 日  
25 日  
26 日  
27 日  
28 日  
29 日  
30 日  
31 日

小中学校PTA連合会要望書提出  
総務文教・社会産業常任委員会  
合同視察研修  
町老連グラウンド・ゴルフ大会  
創業支援連絡会議  
富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合監査  
幼稚園PTA連絡協議会要望書提出  
町村議長会議員研修会・理事会  
県町村議長会議員研修会・理事会  
町老連グラウンド・ゴルフ大会  
創業支援連絡会議

10月

20 日  
21 日  
22 日  
23 日  
24 日  
25 日  
26 日  
27 日  
28 日  
29 日  
30 日  
31 日

全員協議会  
第4回臨時会  
役場前梅林草刈り  
小中学校PTA連合会要望書提出  
総務文教・社会産業常任委員会  
合同視察研修  
町老連グラウンド・ゴルフ大会  
創業支援連絡会議  
富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合監査  
幼稚園PTA連絡協議会要望書提出  
町村議長会議員研修会・理事会  
県町村議長会議員研修会・理事会  
町老連グラウンド・ゴルフ大会  
創業支援連絡会議

10月

29 日  
27 日

議会広報研修会  
古タイヤ・廃バッテリー等有料回収

## 日程（主な活動記録）

毎月開催  
・小口融資審査会  
・農業委員会  
例月出納検査

1月  
15 日  
14 日  
13 日  
12 日  
11 日  
10 日  
9 日  
8 日  
7 日  
6 日  
5 日  
4 日  
3 日  
2 日  
1 日

富岡甘楽地方議会議員研修会  
富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合  
消防組織検討委員会  
地元創生会議  
健康祭  
地域防災訓練  
議会だより編集委員会視察研修  
議会だより編集委員会視察研修  
富岡甘楽地方議会議員研修会  
富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合  
消防組織検討委員会  
地元創生会議  
健康祭  
地域防災訓練  
議会だより編集委員会視察研修  
議会だより編集委員会視察研修  
上毛新聞社新春交歓会  
県町村議長会正副会長会議  
県議会新春交歓会  
上毛新聞社新春交歓会  
県町村議長会正副会長会議  
元旦駅伝競走大会  
町関係役員新年互礼会  
県議会新春交歓会  
上毛新聞社新春交歓会  
県町村議長会正副会長会議  
消防団出初式／成人式  
地方創生会議  
サロンドG  
富岡警察署初点検／部落解放同盟旗開き  
県町村議長会理会議  
県町村議長会理会議



## 社会産業常任委員会

### 県央水質浄化センターを視察

社会産業常任委員会 山崎澄子

11月26日(木)5名の委員で玉村町の県央水質浄化センターの視察を行いました。

下水道事業は、産業や日常生活から排出される汚水を生活環境の改善と公共水域の水質保全を図ることを目的とする事業です。

群馬県では、流域下水道事業として県内を6ブロックに分けて整備を行い、県央水質浄化センターには甘楽町を含め県下10市町村が同センターで管理する約140kmの管渠を利用して接続をしています。

広域処理機能をはたすため342,000m<sup>3</sup>の広大な敷地に整然と並ぶ施設は圧巻を感じるとともに日夜たゆみなく汚水を浄化し、美しい自然に恵まれた環境を守っています。

当町は平成26年度末の整備状況(実施率:人口)が89.4%で、接続率は79.9%となっています。

美しい自然をいつまでも守るためにも一日も早い完成と、接続率の向上が望まれます。



## 社会産業常任委員会

### 6次産業で元気なまち 山形県川西町

社会産業常任委員会 山田邦彦

川西町は、米沢牛の発祥地で、かつて米の平均単収日本一になったこともあるところで、いわゆる転作地を活用し野菜、花き、果樹などの拡大にも取り組んでいる元気な町です。

「紅大豆(べにだいづ)」は、昔から農家には伝わっていたもので、近年、町の特産物コンクールなどで脚光を浴び、現代によみがえったとのこと。町では、4年前に「6次産業化推進計画」を策定し「紅大豆」を含め取り組みを強化しています。

町の気候が赤豆生産に適していて、「赤豆の煮豆」の食文化が伝承され、山形らしさの紅花にちなみ、「紅大豆」と命名されました。大豆ポリフェノール「アントシアニン」を含む紅大豆は、安全安心、地産地消、健康ブームという時代背景も後押しし、今、全国から注目を集めているとのことです。

甘楽町でもあまり気張らずに、「伝承された『味』」を大事にすることが6次産業を活性化することになるのではと感じました。



# 議会運営委員会・議会だより編集委員会合同

## 傍聴者の増加によって活性化する大洗町議会

議会だより編集委員会 長谷川 儀 平

茨城県大洗町議会に行き、正副議長、経済委員長の出迎えを受け、「議会の活性化の取り組み」について研修させていただきました。

傍聴者増への取り組みとして礼状送付やアンケートの実施、各委員会も傍聴者を受け入れ、委員会及び一般質問では議員と同じ資料を傍聴者に配布して町民の皆様にわかりやすい議会を作り上げているように感じました。

このほか3月議会定例会では日曜日に議会を開き、町長の施政方針、当初予算の質疑なども行っているとのことです。そして、大洗町議会では、年間の傍聴者が200人を超えるようになったそうです。

甘楽町議会でも町民の皆様方に議会に感心をもってもらえるよう各種団体に傍聴をお願いしています。そして、年間20人足らずの傍聴者が平成27年は50人くらいの皆さんに出向いていただいています。当議会でも12月議会より傍聴人の皆さんに一般質問通告書の配布を始めました。町民主体の議会になるように頑張りますので、ご意見ご指導宜しくお願いいたします。



「去年今年貫く棒の如き  
もの」

高浜虚子の句です。新年になると年の区切りをつけますが、時の流れは昨日から今日へ繋がる一本の棒のようだと詠んだそうです。新しい年を迎える新たに一年のスタートをきりましたが、棒の如く繋がる今年を幸多い年にしたいものです。

今年は、4月に甘楽中学校が開校します。甘楽町の中学生全員が一緒に切磋琢磨する素晴らしい学校です。中庭には、一中・二中・三中にあつた庭石が配置され、新校舎の中では、新たな環境には少なからず心配もあるかも知れませんが、素晴らしい学習環境の中で、素敵なか仲間達との出会いが待っています。次世代を担う若者が、甘楽中学校で元気いっぱい学んで欲しいと、議員一同心から願っております。

(齋藤彰重記)

委員長 委員長 委員長 委員長 委員長  
江富金山齋中里儀  
原岡崎田藤芳儀  
榮朝澄倍彰芳儀  
和男子視重久平  
みんなさんのご意見、ご感想をお寄せください。

編集後記

### 表紙の説明

一昨年9月から始まった工事が終わり、甘楽中学校の校舎が完成しました。災害時の防災拠点となる「防災交流センター」や「学校給食センター」も併設されています。

グラウンド等の整備が終われば、いよいよ4月には開校します。一中、二中が統合し、新しい校舎で生徒たちは新たな歴史をつくっていくことでしょう。